

令和 6 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立東中本小学校

令和 6 年 4 月

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題 (令和 5 年度運営に関する計画 総括)

**【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】**

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

- 学校アンケートでは、「いじめについての項目」では、最も肯定的な回答が 88 %で次に肯定的な項目の回答とあわせると 96 %となっているが、同じ「いじめについての項目」で大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対しては、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 82.3 %で最も肯定的に思うと回答する目標の 86 %には至らなかったが大阪市の平均よりはわずかに上回った。
  - 月に一度、各学級でスクリーニングシートを記入し、いじめの防止のために共通理解を図っている。また、いじめを認知した場合は、いじめ対策委員会を開き、全校で対応した。
  - 不登校児について月に一度、生活指導部会で、SSW と連携しながら対応を行った。
  - 挨拶に関する学校アンケートでは、学年ごとの数値の平均で肯定的な回答が 89 %となっている。登校時にあいさつ指導担当からみた児童のあいさつへの意識はよりよいものになってきた。
  - 不登校児童の在籍比率は前年度とかわっていないが、区役所子育て支援室や SC, SSW、とも連携し、関係機関への通所や療育へつなぎ合わせもでき、改善傾向にある。
- (次年度への改善点)
- 引き続き月に一度生活指導部会や状況に応じていじめ対策委員会・不登校対策委員会を開き、児童の実態の把握やトラブルの未然防止に努めていく。
  - 学期に 1 回以上のスクリーニング会議を開催し、関係諸機関の専門的な意見も取り入れた生活指導を進めていく。
  - 生活指導部会で一定日数以上休んでいる児童を確認し、全体で共通理解をする。
  - 清掃活動時間に各学年で学年の清掃個所の見回りを継続して行っていく。

**【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】**

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

- 取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】
- 全学年での国語科研究授業を実践し、普段の授業づくりに生かすようにできた。国語科にとどまらず、学習活動において話し合い活動を設定し、ペアトークやグループトークを行い考えを深めたり、広げたりすることができた。
  - 学校アンケート「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目では、最も肯定的な回答が 44 %であった。大阪市経年調査(3~6 年)のアンケートでは、42.9 %となり、大阪市平均と昨年度本校(41.6%)の結果から上回ったものの、目標の 46 %には到達できなかった。
  - 大阪市経年調査における「国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団においていざれも前年度よりも 2 ポイント向上させる」について対全国比では、上回ったのが、4・5 年の国語であった。また、3・4 年生は国語・算数とも正答率が全国比を上回る結果となった。

## 取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- 国語科単元終了後のアンケートでは、実施した学年において、「登場人物の様子や気持ちを考えることができた」という項目で全学年 80 %を超える結果となった。
- 大阪市がんばる先生支援事業に参加し、読書環境の整備を進め、本棚やソファーなども新たに購入したり、学級文庫の充実、各教科の学習に合わせた集団貸し出しも進めるなど、学校司書や図書委員会の取組とも連携して推進することができた。学校アンケートの「1 週間に 3 度以上読書をする」の肯定的な回答が 76 %と昨年度よりも上昇させることができた。

## 取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- C-net の先生にも加わっていただきながら、英語・外国語活動を充実した活動となっている。学校アンケート「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 89 %で昨年度より 6 ポイント上昇した。大阪市経年調査では、大阪市平均より上回る 80 %で昨年度より 4.8 ポイント上回った。

## 取組内容④【◆ 基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- シャトルラン年度内比 4.2pt 向上(男子 5.8pt、女子 2.8pt) 大阪市経年調査のアンケートでは、「運動(体を動かす遊ぶを含む)やスポーツをすることが好きですか」の問い合わせに、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合が 73 %であった。昨年度より 6.4 ポイント上回った。

(次年度への改善点)

取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- 引き続き、考えをペアやグループで交流させながら、深い学びに結び付ける授業づくりを進めていく。
- 児童が興味・関心を広げていけるような読書環境の整備を引き続き行っていく。
- 中心発問・補助発問をより吟味して、児童が考えたくなる授業づくりの研修・研鑽を進めていき、各教科の「～の学習は好きですか？」という項目の肯定的な回答が今年度以上になるようとする。

取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- 学習活動における ICT 機器の効果的な活用について検証・実践する。
- 引き続き、個に応じた支援を意識した授業展開、資料作成を行う。

取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- 4月の段階で、英語活動の先生と年間指導計画に沿って活動を進められるように打ち合わせをする場を設定する。

- 教員の指導力も上げていけるようにする。

取組内容④【◆ 基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- 共通の運動を各学年に伝える方法を再考の必要がある。

- R7年度 全国体力運動能力、調査等における全国平均比を 1.00 にするため、本年度の結果を分析し、取り組み内容を精査していく。

**【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】**

(年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析)

取組内容①【⑥教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】

- 高学年だけでなく、低学年も朝学習、心の天気などタブレット端末を活用できるようになった。(1年生は 2 学期以降の活用を進めてきたが、一人で操作できる姿が見られている)
- 今里小学校との交流活動は、オンラインを活用して国語科の学習をグループディスカッションしながら進めるなど、充実した活用ができている。
- 連絡帳の代用として、端末を活用して児童と保護者が自宅で確認できるようにした学年もあり、活用の幅を広げつつある。

取組内容②【⑧生涯学習の支援】

- ビブリオバトルや図書館開放等の取り組みにより、目標冊数とした 11157 冊を大きく上回る 23000 冊（2 月時点）に到達した。

- 読書冊数では、図書室の PC でチェックした本の冊数しか数えられていないので、実際読んだ本よりも少なくなっていると考えられる。

取組内容③【⑦人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

- 目標を今年度より週 1 回としたが、一定の教員は超過勤務の状況が続いている結果となった。

取組内容④【⑨家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- 年度目標の保護者アンケートの「学校は教育活動を学習参観や学校公開、ホームページなどで知つてもらうようにしているか」の項目については、「そう思う」が 66%、「ややそう思う」も加えると、肯定的に答える保護者の割合は 96% であった。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

◆ 基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92% 以上にする。

◆ 基本的な方向 2 豊かな心の育成

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査「人の役に立つ人になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を 95% 以上にする。

- 令和 7 年度末の校内調査の「係や当番の仕事をすすんでしている」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85% 以上にする。

## **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

### **◆ 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上**

- 令和7年度の小学校学力経年調査の平均正答率7割以下の児童を、いずれの学年も令和3年度より5ポイント減少させる。
- 令和7年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別の授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、85%以上にする。

### **◆ 基本的な方向5 健やかな体の育成**

- 特に課題である20mシャトルランとソフトボール投げの記録を、令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、令和3年度より1ポイント増加させる。

## **【学びを支える教育環境の充実】**

### **◆ 基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進**

- 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。

### **◆ 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり**

- ゆとりの日については、月2回以上設定する。
- 学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

### **◆ 基本的な方向8 生涯学習の支援**

- 令和7年度末の校内調査において、児童1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より10冊増加させる

### **◆ 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進**

- 令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和3年度より5ポイント増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
- 本市調査における「いじめられる側にもそれなりの理由や原因があるといった姿勢で対応するのではなく、いじめる側が悪いというぶれない認識で対応している」とする教員の割合を100%にする。
- 令和6年度校内調査の『進んであいさつすることができますか。』の項目で、肯定的な回答を85%以上にする。
- 令和6年度校内調査の『友だちとよく話したり、遊んだりしている』の項目で、もっとも肯定的な回答を85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を68%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケートの「学校は、校内の教育活動を学習参観や学校公開、ホームページ、各種たよりなどでよく公開している。」の項目について、最も肯定的な回答をする保護者の割合を、68%以上にする。

### 【その他】

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式例 2)

## 大阪市立東中本小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 71 %以上にする。</p> <p>○本市調査における「いじめられる側にもそれなりの理由や原因があるといった姿勢で対応するのではなく、いじめる側が悪いというぶれない認識で対応している」とする教員の割合を 100 %にする。</p> <p>○令和 6 年度校内調査の『進んであいさつすることができますか。』の項目で、肯定的な回答を 85 %以上にする。</p> <p>○令和 6 年度校内調査の『友だちとよく話したり、遊んだりしている』の項目で、もっとも肯定的な回答を 85 %以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>○いじめの早期認知・解消に向けた校内の体制を整え、課題に取り組む。</p> <p><b>指標</b> ・月に一度、各学級でスクリーニングシートを点検・記入し、いじめの防止のために共通理解を図る。いじめを認知した場合は、いじめ対策委員会を開き、組織的に対応していく。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>○不登校児童の割合の改善、比率の減少に向けて取り組む。</p> <p><b>指標</b> ・月に一度、生活指導部会で、不登校児童について共通理解をはかる。不登校児童については、SSWと連携を取りながら対応していく。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</b></p> <p>○ピアサポートの手法を取り入れた授業を行い、子どもたちが互いに思いやり、支えあう人間関係を育む学習活動に取り組む。</p> <p><b>指標</b> ・前期・後期にそれぞれ 1 回以上ピアサポートの手法を取り入れた授業を行う。</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</b></p> <p>○児童のあいさつに対する意識を高め、進んであいさつできるように啓発する。</p> <p><b>指標</b> ・あいさつ週間を学期に 1 回設け、運営委員を中心にあいさつの啓発を実施する。</p>	

•  
•  
•  
•

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## (様式例 2)

## 大阪市立東中本小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を<u>45%</u>以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を<u>70%</u>以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」のある授業を開催し、児童の考えが深まったり広げたりできるようにする。</p> <p><b>指標</b>・主に、国語・算数の授業において、毎単元で話し合い活動（ペアトーク・グループトーク）の場や振り返り（読み広げ、読み深め）の場を設定する。 ・毎時間「振り返り」をノートに記入し、児童の考えが深まったことを確認できるようにする。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○学習規律や生活規律などを整え、主体的に学習し、読解力を育成できるようにする。</p> <p><b>指標</b>・各学年、国語科で研究授業を行う。 ・学校アンケートで、「国語科の学習において、登場人物の気持ちや、筆者の言いたいことを考えたり、話し合ったりすることができた」の項目で肯定的な回答を<u>89%</u>以上にする。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>○算数の計算領域の定着を図る。</p> <p><b>指標</b>・計算評価問題を年度初めと年度終わりに行い、回答率を 1 ポイント以上向上させる。</p>	
<p><b>取組内容④【◆ 基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b></p> <p>○児童が主体的に取り組めるよう体育実技の研修会を年 2 回以上行う。</p> <p>○学校全体で、運動を楽しみ、体力の向上につながる取り組みを行う。</p> <p><b>指標</b>・授業で運動の仕方がわかり、できるを味わえるように、「学習課題を持たせ、個人やチームで動き方を考え交流できる時間を授業に設けている」と回答する教員の割合を<u>90%</u>以上にする。 ・新体力テスト 20m シャトルラン・ソフトボール投げにおいて、年度内比で平均値を 2 ポイント増加させる。 ・児童全員が参加するかけ足週間を 2 学期に、なわとび週間を 3 学期に実施する。</p>	

•  
•  
•  
•

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式例 2)

## 大阪市立東中本小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を68%以上にする。</p> <p>○令和6年度末の保護者アンケートの「学校は、校内の教育活動を学習参観や学校公開、ホームページ、各種たよりなどでよく公開している。」の項目について、最も肯定的な回答をする保護者の割合を、68%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</b></p> <p>○1人1台端末の環境を生かし個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組む。</p> <p><b>指標</b>　・スクールライフノートをはじめ、児童が1日1回以上、学習者用端末を利用した学習や活動を行う。</p>	
<p><b>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>○教員の働き方改革を推進する。</p> <p><b>指標</b>　・週1回、ゆとりの日を設定する。 ・閉学時間を18時45分とし、その達成率を70%以上とする。</p>	
<p><b>取組内容③【8 生涯学習の支援】</b></p> <p>○朝学習の時間（英語モジュール、読書タイム）の充実を図り、主体的に学ぶ姿勢を身に付ける。</p> <p><b>指標</b>　・校内アンケート、「朝学習（英語モジュール、読書活動）にすすんで取り組んでいる。」の肯定的回答を前期より向上させる。</p>	
<p><b>取組内容④【9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】</b></p> <p>○家庭・地域と連携を密にし、協力して学校教育をすすめる。</p> <p><b>指標</b>　・学年だよりでの行事の紹介や、Teams等の活用を図り、学校の様子を伝える。</p>	

•  
•  
•  
•

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点